



ている。先生方の精神的フ
ロームも全教員が実践力となっ
ている。

問 新教育課程でねらう教育の本質は何か。(務台)

答 “生きる力”何事にも立ち向う力を培うことである。

◆給食費の公会計化実現を

問 市長は10月以後の子ども手当についてどのようにすべきと考えているか。また、公約である給食費無料化や給食費の公会計化についての現在の考えはどうか。(柴田)

答 子ども手当は、10月以後もこれまでの支給額は維持され、かつ何らかの上積みがなされ、自治体の裁量で利用できるようになればよいと考える。10月以後どうなるかははっきりした時点で給食費の公会計化も実施していく。

◆体験学習の家一年間の検証

問 体験学習の家利用状況は好調のようだが、平日の活用が今後の課題。近くの地球の宝石箱やチロルの森を活用した、通年利用と生涯学習や企業研修等の利用を。(横沢)

答 冬期は施行規則や標高が高く厳しい寒さ等で休んでいた。特例として2回ほど利用した。平日の利用については、魅力ある体験学習の開発によ

る、幅広い年代層に利用される努力をしたい。

問 選挙権を放棄する若年層が目立つがその原因と対策は何か。(務台)

答 学校教育はもとより地域ぐるみでこの事を考えたい。選挙管理委員会としても講演会や公民館に働きかけて意識を持たせたい。

◆産科医療の確保

問 妊婦検診等に関する医療機関の連携と共通診療ノートの導入効果は。(永井)

答 7月1日から桔梗ヶ原病院で妊婦検診等を再開する。1人の妊婦に関わる情報を共通ノートに集約することで、自身の健康管理や医療機関の相互連携が円滑になる。



塩嶺体験学習の家



選挙への関心を高める取り組みを

交通の 利便性を 高めるために

◆市道3路線の拡幅改良を

問 野村大門線、堅石高出線及び野村北原丘中線等の拡幅計画は。(永井)

答 国道19号九里巾交差点の改良に伴い交通量の増加が予想され、まず野村大門線と堅石高出線の交差点改良を考えている。野村北原丘中線は土地利用や広丘東通線等の進捗を見ながら検討する。

◆地域振興バスについて

問 市内で唯一の空白地帯北小野に、JR辰野線と相乗効果の上がる昼間の時間帯に振興バスの運行を。(横沢)



地域振興バス

答 北小野地区は高齢化も進み、地域の活性化のためにも必要と思う。両小野国保診療所、小野駅接続も含め地元地区、辰野町、JR関係者とも十分協議しながら、運行できるように進めたい。

◆道路整備について

問 広丘西通線は四ヶ堰に沿って北部公園の駐車場まで暫定的に通行できるが、行き止まりとなっている。広丘西保育園西側の中断されている既設道路と接続して、市民の利便性の向上を図るべきと考えがどうか。(柴田)

答 北部公園は都市計画決定された都市公園であり、公園内に道路をつくることはできない。また、公園外に作ることは可能だが、既設道路の幅員が狭くクラックもあり、か